

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



平成 29 年 下仁田町 成人式（アトラクションの抽選会にて）



交通指導隊初点検（1月15日）

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な
内容

新年のごあいさつ	2
一般質問	3~4
委員会報告等	5~6
審議結果	7
シリーズ消防団	8

謹賀新年

明けましておめでとうござ
います。

ここに輝かしい新春を皆
さまと共に迎えることがで
きましたことを、心からお慶
び申し上げます、町議会を代表
し、謹んで年頭のご挨拶を申
し上げます。

旧年中は町民の皆さまに
は、町議会に対し格別なご支
援ご協力をいただき、厚くお
礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りま
すと、当町におきましては、
一昨年、町民、各団体、議
員も入った地方創生戦略ピ
ジョンを策定し、特に移住、
定住、子育てしやすい環境
づくりに関する事業を優先
的に進めているところです。

地方創生戦略ビジョンを策
定した自治体に特化した国
庫交付金などを活用してま
ちづくりが進行中であり、ま
た、地方創生の推進に向けた
具体的な取り組みの一つの
例として「道の駅しもにた」
の再整備や定住・移住対策を
進めております。

さらに、人口減少、少子高
齢化など本町を取り巻くさ

まざまな課題に対応し、町が
目指していく将来像とそれ
を実現するための「下仁田町
第5次総合計画」を策定して
おり、議会としても開かれた
行政の運営として、将来的に
は議会の中継等、より開かれ
た議会運営を検討して行き
たいと思っております。

町議会においては、開かれ
た議会を目指して」をスロー
ガンに、議員の諸給与の特例
に関する条例の制定（長期間
欠席者への報酬減額）、高校
生による議会傍聴、議会基本
条例制定後における第1回
の議会報告会など議会の果
たすべき役割と責任を自覚
し、議会制度改革に取り組ん
でおります。

これからも皆様の声を大
切に、行政と町議会が一体と
なって「住みよい町、活力の
ある町」の実現に向け尽力し
て参ります。

結びに、新しい年が町民の
皆様に素晴らしい年となり
ますようご祈念申し上げます
して、新年のごあいさつとさ
せていただきます。

議長 佐藤勇二



公職選挙法により年賀状のあいさつはご遠慮させていただきます

一般質問

町政を問う

■質問事項一覧 >>>

◆岩崎正春 議員 50分・・・3・4ページ

町長の公約と施策の実現について

- ①重点的に行う施策は何か
- ②施策を実現するための手法は具体的にどのようなものか
- ③地方創生への取り組む姿勢を示して下さい
- ④道の駅の大改修計画と目指す目的は
- ⑤世界遺産・ジオパークをどのような形ですすめるのか
- ⑥国、県、近隣自治体に対するの対応と連携について

(傍聴者 10人)

※質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、下仁田町議会のホームページでご覧になれます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

●町長の公約と施策の実現について

問 副町長の処遇は

答 地方創生に関して副町長と共に進んでいきたい



岩崎 正春 議員

●ジオパークについて

議員 荒船風穴とジオパークの関連で、知的集施設、これらは日本ジオパーク認定に

議員 地方創生に関した部門と観光に特化した事業部みたいなものを作り、専門担当の副町長にしては。町長 そう言うことで検討したい。

町長 これから調査したい。

議員 ジオパークの枠組みと申すのは、申請した時点で下仁田町の町内を一つのエリアとして、ジオパーク申請している。そうした大き

なっている下仁田ジオパーク、これらを一つにした場合のジオパークのコンテンツが変わってしまうために再認定の障害になることはないか。

な枠組みを変えると、いったん取り下げて再申請になる心配はないか。

議員 町長が考えている、広範囲と言うことになると、申請の出し直しと言う形になると思われる。

議員 町長の答弁で複合施設、二つを一つにするというものは、それらに当たらないかどうか。

議員 自然史館及び歴史館ですが、ここ何年間の準備の中で、国庫補助を受けている関係もあり、すぐ二つを一つに出来る状況ではないと思っております。

●CLTについて

問 森林資源活用になるか。

答 大きな目標である。

議員 大変大きなプロジェクトでこれが即、今の荒廃する森林資源の活用につながるか。

町長 この問題、国が進めているが、時間が5年後10年後ではちよつと難しいと。かなり早い時期の目標達成が必要になってくる。大きいことだが目標として上げた。目前の対策としては、森林組合対策かなと思つている。

●高齢者対策として、バスの無料化は

町長 バスは、スクールバスと一般のバスで混乗化を実現した。無料化した場合の、国庫補助、交付金の給付に支障がないか。

答 それも考えている。詳しいことは副町長から。

副町長 町営バスの無料化に関して、現在は混乗と言うことで、費用をいただいている。昨年度ベースの収入で、212万6000円の利用料金収入をいただき、県からは、

182万円の補助金をいただいている。混乗化と言うことで、完全無償ではないので、合わせて国の方から1440万円の特別交付税を受けている。全員を完全に無料化とすると、この特別交付税がなくなる。その点については、慎重にどういった方法が良いのか精査していく必要があるかと思う。

議員 私も町営バスの無料化が図れば、大変結構ですけど、逆に今副町長が答弁したように、町の一般財源から持ち出しが1500万円増え、町の負担になると、バス事業だけでなく、他の福祉施策、子育て施策に支障が出ないかどうか、町営バスの無料化といえ、町民もそれなりの期待をしてしまいますし、実際は町民に対しても、国の交付金が切られる可能性があり、他事業で我慢してもらおう施策が出るわ

けですから、その辺は町長としては、バスだけ特化しての話になり、この辺は慎重にやっていたきたい。

町長 これからの検討だと思つている。

議員 バス以外にタクシー券については、どれくらい拡充するか、具体的なプランはあるか。

町長 これからの検討だと思つている。

●保育料の軽減について

議員 子育て世代の対策として、保育料の軽減は第一子か。

町長 第一子を考えている。

議員 学校給食の減額はどのようなものか。

町長 具体的ではなく、子育て世代に対してなんとか応援をしてやる

のが町の立場かなと言うことで、私の目標として掲げさせていただいた。もちろん、軽減、それなりに減額という目標で、進みたいと思つている。これから具体策は検討していきたい。

●道の駅大改修について

議員 ハード事業だけでなく、ソフト事業にどうつなげていくか。

町長 大きく3つの柱を持ち、再整備を進める。第一は、町の総合情報発信拠点としての機能強化。

第二は、町民が生涯活躍できる社会の実現に向けた農産の集出荷や、買い物支援、子育てサポートなどの地域福祉支援の拠点。

第三は、下仁田ネギを中心とした農産物の直売機能の充実、地産外商による販路拡大それに伴う、売り上げを年中、所得が得られる

ような農業振興支援とする。

●自治体間連携について

議員 連携市町村に対しての対応について、具体的には。

町長 今後の課題ですから、後ほど説明したい。

議員 日本ジオパーク委員会あるいは、風穴サミット色々町民の間では、それぞれ交流が進められているが、他の自治体との交流は。

町長 今考えている。前向きに進んでいけると思つている。



予算決算特別委員会（傍聴者1人）

▼主な質疑

◆平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）

【歳出】

問 財産管理費の旧黒澤商店裏の修繕内容と今後の利活用について伺いたい。

答 修繕内容は、敷地を囲っていたトタン板の劣化に伴う再設置と裏庭の整地です。今後の利活用については、関係各課および団体と検討し方向付けをしていく予定である。

問 消防費の備品購入費について。

答 消防ホース10本分の金額です。

問 以前宮室地区で発生した火災の現場に立ち会った時、道路を横断するホースを保護する機材が足りないように見受けられたが、今後増やす予定はないか。

答 ホースブリッジという機材だと思うが、各

ただき、中西文庫については、今年度50万円、次年度以降複数年に亘り、基金を取り崩させていた。基金を取り崩させていただき、図書購入費に充てたい。

文庫の現状ですが、中学校では、図書室入口に「中西榮太郎翁」の偉業について掲載されている。両校とも統合時に書籍の整理をし、文庫の図書については不明瞭ですが、今後は、篤志家の意向を踏まえ、後世に伝承していきたいと思います。

問 教育長の意向を伺いたい。

答 今後、前向きに取り組んでいきたい。

問 社会教育総務費の文化ホール運営に係る82万7000円の減額理由について伺いたい。

答 文化ホールの屋根防水塗装工事とガラス遮熱フィルム貼換え工事の入札差金です。当初よりも仮設の足場と遮熱フィルムが減額となった。

問 工事の金額はいくらか。

答 完成金額は239万2000円で、当初予算額は321万9000円です。

問 ジオパーク推進費について伺いたい。

答 委託料の62万7000円については、今年度、馬山のはねこし峡ジオサイトの駐車場を整備しているが、工事に先立ち駐車場用地の隣地との境界が不明だったため、司法書士に依頼し境界確定と測量をお願いしたものです。工事請負費については、旧青倉小学校のプール一部解体と道の駅にあるジオパークの総合看板の移動にかかる工事費である。

問 民生費の備品購入費170万円は、車両購入費と聞いているが。

答 福祉作業所の商品運搬等で使用する車両購入費です。現在の車は平成8年12月に購入したもので、走行に危険性が生じてきたためである。

問 レンタル購入している部署もあるが、検討したか。

答 レンタル購入していない。現在の車の使用年数が20年。今回もそのくらいの年数使用で見ると、レンタルより購入した方が金額が抑えられる。

問 法定繰り入れとは。

答 一般会計からの繰入金金は、法定どおり認められているものだけ実施している。

問 出産育児一時金は、1件42万円支給される。そのうちの3分の2の28万円が交付税措置されるので、2件分の56万円を一般会計より法定どおり繰り入れたい。

答 出産育児一時金は、1件42万円支給される。そのうちの3分の2の28万円が交付税措置されるので、2件分の56万円を一般会計より法定どおり繰り入れたい。

問 出産育児一時金の歳入と歳出の差異について。

答 出産育児一時金の歳入と歳出の差異については、

整備が進んでいるはねこし峡



整備が進んでいるはねこし峡

※おう六・・・河底や河岸の岩石面上にできる円形の穴

定例会の概要

▼開会日・一般質問 (12月13日)

会期を21日までとする決定を行い、岩崎正春議員が、町長の公約と施策の実現について質問を行いました。

▼議案の上程・採決 (14日)

人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。また、条例改正案など15件を上程・採決し、平成28年度4会計補正予算を予算決算特別委員会に付託しました。

▼予算決算特別委員会 (15日)

付託された案件の審査を行いました。

▼閉会日・採決 (21日)

原町長が14日の本会議での第5次総合計画に関する自身の発言を取り消し、陳謝した後、予算決算特別委員長が付託議案の審査結果報告を行い、採決の結果、委員長報告のとおり可決し閉会しました。

群馬県町村議会議員研修会

10月28日、吉岡町文化センターにおいて、群馬県町村議会研修会が開催されました。

初めに、山村武彦氏（防災システム研究所所長）の「自助、近所、共助でつくる災害に強いまちづくり」という演題で、講演がありました。これからの防災、命を守ることを優先する「スマート防災のすすめ」に

ついて話され、一番大事なことは、住民、自治体、職員の意識を上げることと話されました。

次に、手嶋龍一氏（外交ジャーナリスト、作家）が「動乱の21世紀を読み解く」という演題で講演しました。手嶋氏は、元NHKワシントン支局長で自身の経験・分析や人脈から得られた情報から現在の我が国を取りまく国際環境についてわかりやすく解説していただきました。



佐久市議会との交流会実施

平成27年11月20日「下仁田ねぎ祭り2016」

に、長野県佐久市議会議員の皆さんをお招きし、下仁田町の議員全員が出席し交流会を行いました。交流会は、平成16年から佐久市議会と始まり、両市町の議会が相互に連携し情報交換を進め

てきましたが一時中断していました。

昨年、5月に佐久市議会と交流会が再開し佐久市で行われましたので、今回下仁田町で開催し、両議会の親睦を深め、さらなる前進に向けての相互の意見交換を行いました。



下仁田ねぎ祭り2016会場にて

新議員紹介

小須田 肇 議員



佐藤 公夫 議員



11月27日に行われた町長選挙に合わせ、欠員となっていた町議の補欠選挙が行われました。その結果小須田肇氏と佐藤公夫氏が当選されました。

小須田議員、佐藤公夫議員に心からお喜び申し上げ、今後のご活躍を期待いたします。

審議結果

11 月臨時会 (11 月 25 日開催)

○は賛成、×は反対を表しています

議案番号	議案名	議員名										審議結果	
		岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	欠員	岩崎正春	欠員	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志		岡田武二
	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会議員の補欠選挙について(選挙第3号)	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	
78	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	×	△	○	△	×	○	○	○	○	可決
79	下仁田町の特別職の職員で非常勤のもの諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	可決
80	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	×	△	○	△	×	○	○	○	○	可決
81	下仁田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	可決
82	平成 28 年度一般会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	可決

12 月定例会

議案番号	議案名	議員名										審議結果	
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二		佐藤公夫
	下仁田南牧医療事務組合議会議員の補欠選挙について(選挙第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推薦について(諮問第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	人権擁護委員候補者の推薦について(諮問第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
83	下仁田町の特別職の職員で非常勤のもの諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84	下仁田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
85	下仁田町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86	下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87	下仁田町ガス供給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88	下仁田町議会の議決に付すべき事件に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89	ねぎとこんにゃく下仁田奨学金基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
90	下仁田町農業委員会の委員の定数に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
91	下仁田町農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
92	下仁田町中山間地域活性化推進基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
93	下仁田町水土里保全整備推進基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
94	平成 28 年度公営住宅建設事業伊勢山下第 2 町営住宅建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
95	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
96	土地の処分の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
97	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
98	平成 28 年度下仁田町一般会計補正予算(第 4 号)	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
99	平成 28 年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
100	平成 28 年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
101	平成 28 年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	佐藤公夫議員の発言取り消しを求める動議	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	否決

※佐藤勇二議長を除く 11 人で採決を行います。

⑥ 下仁田町消防団

第四分団 分団長 山田 勉さん



10月30日に開催された消防秋季点検

下仁田町消防団第四分団は、本宿地区の第1部、三ツ瀬、一ノ萱地区の第2部、矢川地区の第3部で構成されています。人員は、分団長以下40名で、消防ポンプ車1台、可搬ポンプ車2台体制で活動しています。

4分団は、内山峠、和美峠の長野県との県境にあるため、活動内容としては、車両火災や森林火災、荒船山などでの行方不明者捜索等も多くあります。

矢川地区においては、昨年は、新しい車両を配備していただきました。今年の11月には、水害、雪害等を想定した防災訓練を実施し、区長や防災委員を中心とした、災害時の避難行動の確認を行いました。

その後は、救命講習会を行い、地域の皆さまにはお忙しい中、半日にもわたり参加をいただきました。ありがとうございました。

また、今年度には、新しい詰所に建て替えをしていただいております。本当にありがとうございます。

最近では、町外に勤めている団員も増えておりますが、OBを初めとする、地元の方々にお話になりながら、活動に勤めてまいりたいと思っております。



矢川区のAED講習の様子

議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は3月の予定です
議会傍聴をお待ちしています。
日程などのお問い合わせは

☎64-8810



議会だより第75号
(平成28年11月1日発行)の内容に誤りがありました。

10ページ4段目、右から19行目「2万6000円」とあるのは、正しくは「2600万円」でした。

訂正してお詫び申し上げます。

編集室から

新春を迎え皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。旧年中は議会だよりをご愛読いただき大変ありがとうございました。

本年もどうかよろしくお願致します。

「議会だより」も76号となり創刊以来20年を迎えようとしております。「あなたと議会を結ぶ確かな情報と信頼」をモットーに今後

読んでいただける紙面作りを目標に決意を新たにしているところであります。

今後ともご意見、ご感想をお寄せいただけます様お願いいたします。

K・S

広報発行特別委員会

- 委員長 永井正之
- 副委員長 岡田邦敏
- 委員 木暮弘元
- 千野榮治
- 岩崎正春
- 島崎紘一